横芝広報
この広報は各家庭に洩れなく配付します。
発行所・千葉県山武郡横芝町役場（電話）横芝 32・249・339

年頭の御挨拶

町長　伊藤績夫

町民の皆様明けましておめでとうございます。多難でありました昭和三十八年も過ぎて茲に輝しい新春を、迎えるにあたりまして、心からお慶び申し上げるとともに、これからは愈々寒気もきびしくなりますことと、皆様には、益々御健康に御多幸でありまして様謹しんでお祈り申し上げます。顧みますれば、横芝町も合併以来十ケ年となりました。不肖私も町政をお預りしましてから、継続勤務しておりますが、その間「町の幸福なくしては、住民の福祉はなく又、住民の幸福なくして町の発展はない。そして地域住民の幸福は大きくは、国の幸となるもの」との信念を確保してまいりました。昨年も「より良い横芝町を、皆様をより幸に」と考えて、努力はいたしておったのでございますが、いかにせん、限りある町財政力と、加えて、足らざる私の力は、心はあせりましても、意の如くならず、町民の皆様の御期待に添えない点も多々あったことを、心からお詫び申上げる次第であります。幸い町民の皆様の熱意は、良く足らざる私を補い、創企的な柴山川漁港第一期工事の完成、農業構造改善事業の発足に依る農業近代化、屋形改良事業の推進、町営住宅栗山団地の完成、大総小学校の講堂建設、横芝小学校危険校舎改築、横芝中学校産業技術教室建築等の着手、青少年健全育成推進協議会の発足、オリンピックを控えての郡民体育大会招致等々、産業及び文化の進展にと、着々大横芝の礎石を築きつづりますことは、まことにお互いに、欣幸に堪えないところであります。終戦後すでに二〇年明治以降の日本の歴史を繙いて見ますとき、戦争も事変と起らずに平和な時代がこんなに長く続いたことは未だかつてないことであり、「どうか今後も永久にこうした平和な、時代が続きます様に」と祈り念ずる次第であります。しかしながら、内外の情勢は多難を極めており、刻一刻の間にも少からぬ推移をつづけておるものでありますが　今後の町造り人造りには、どうしても町民各位の御協力によらなければならない数々の問題が、山積いたしておることは今更申し上げるまでもないことであります。町民の皆様どうぞ、一層健康に御留意の上一致団結より良い、横芝町の建設と地域の福祉向上に御尽力と御協力を、お願いを申し上げ新年の御挨拶に代えさせていただきます。

新年おめでとうございます。輝しい陽光に栄ゆる、昭和三十九年の初頭に当り、謹しんで御祝詞を、申し上げるとともに、ここに心を新にして、更に皆様の代表発言者として、重任の認識を深め、その誇りと名誉に恥じない仕事に邁進する事をお誓いいたします。御承知の通り、町行政の年度は、四月に始まり、三月に終ることになってはおりますが、やはり新年は何かと改って、心ひきしまりを、感ずるものであります。私達も、正月を迎える度に、よりよき町政に参与する為の計画を、胸に画くのではありますが、いやしくも一つの地方自治団体となりますと、地域社会の公正を欠いた議決することは出来ません。例えば、横芝町にしましても、今後百年の計を遂行させていただく為には時には一部の方には御心にそいたい点について特に御了解を、いただくことの必要もあり、その御了解には、どんな方法でお応えするか等ということも、問題となるのであります。幸い昨年各種事業に対しましては、町民各位の全面的な御協力と御努力により、私達も町政参与にひたすら専念出来得ましたことを、深く感謝申し上げる次第であります。やがて四月には、新年度を迎え、あえて申しますならば前途多事と申すことが出来ると思います。為すべき事柄は、「これからだ」と言えましょう。町民の皆様どうぞ本年も相変りませず御指導、御鞭撻そして良き町造りに御協力下さいます様お願いいたして止みません。終りに皆様の御健勝と、御多幸をお祈りし、私の新年の御挨拶といたします。

新年所感

議会議長　伊東厳

議会だより

◎定例会（十二月一日付十二月十四日招集のもの）

一、専決処分事項の報告について、（旧市町村職員恩給組合規約の一部を改する規約を改正する条例制定について）二、横芝町国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について（別表＝農業近代化資金の種類＝中の利子補給率を改正する条例制定について（災害補償条例の適用する者の範囲に、応急措置従事者を追加し、又別表給付額を、それぞれ増額するための改訂を行うもの）六、請負契約締結について（横芝小学校改築工事＝六五〇万円＝の請負契約を行うもの）七、請負契約について（横芝中学校増築工事＝五七万円＝の請負契約を行うもの）八、町有地の売却について（屋形地先の町有地を売却するもの）九、予算外義務負担について（旧飛行場跡に誘致した東洋コンチネンタルカーボン有限会社に対し、奨励の意味で予算外義務負担を行うもの）十、議決の変更について同意を求める件、（大総小学校屋内運動場建設工事会及農業委員会の委員長報酬の入札について、指名競争入札と議定されていたものを随意契約に変更することの同意を求めるもの）十一、随意契約の締結について（大総小学校屋内運動場建設工事＝五九五万円＝の請負契約を吉岡建材株式会社と行うもの）以上十一議題を審議決定

◎臨時会（十二月二十三日付二十六日招集のもの）

一、特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について（教育委員補修の為二〇万円を町一般財源より繰入れ追加するもの）三、昭和三十八年度横芝町才入才出追加予算議定道路改良費四十万円全維持費三十万円、全拡張負担金四一万円土地改良事業費一一七万円等計四一五万円余を追加するもの）四、昭和三十八年度横芝町有線放送電話才入才出追加予算議定（北清水地域の改委員報酬二千五百円を三千円に、五、昭和三十八年度横芝町国民健康保険才入才出追加予算議定（寄生虫検便委託料四万円等計八万円を追加計上するもの）六、昭和三十八年度横芝町才入、才出追加予算議定（事務費及事業費計七四万円を追加するもの）以上六議案を審議決定

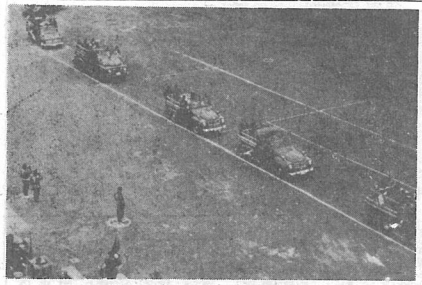
昭和三十九年初出式

少年消防隊の活躍目出つ

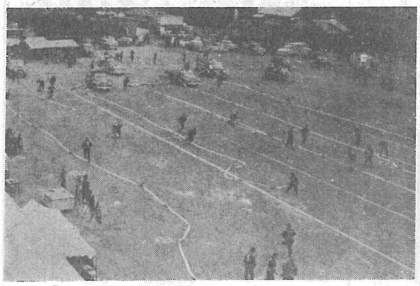
本年度消防初出式は一月八日横芝中学校々庭で挙行された、「一番以下、各担当操作員異状なーし！」「よーし！」報告する者、受報するもの、呵呵の呼吸も活潑に一月の空に響き渡り、水火消防に挺進する大和男の子の意気は天を突くものがあり、中にも紅顔を染めて活躍する中学校少年消防隊は次代を担う若人の頼母しきもうかがい見られ、来賓として列席の蓮沼婦人消防団のタスキ姿とともに見学者の注目を集めた。

自動車ポンプ六台、自動三ポンプ二台、手引一二台、可搬式七台、団員六七五名の装備は「火災何物ぞ」の感を深めたが「此の装備は町民各位又一部篤志家の御尽力により誕生したものでありますが私達は、相成る可くば此の装備を実用に供さぬよう、事前の防火対策に努力いたします。それがとりもなおさず装備に御尽力下さった方々への御恩返しと思います」

椎名消防団長及小関消防主任は交々そんな風に話ってくれました。



町長の検閲を受ける堂々の機動ポンプ部隊



「かかれーつ」号令一下
想定目標に向つて行動を開始する機動、操作班

昭和三十九年消防初出式表彰者氏名

◎知事功労章　池沢努
◎知事精勤章　渡辺功　伊藤重雄　宇井英雄
◎県消防協会功労章　伊藤武利　伊藤菊雄
◎精勤章　平山敬止　八角喜久夫　伊藤範雄　宇都木庄吉　小高豊治　斎藤登　伊藤利雄
◎財務事務所長章　伊藤正三　押尾隆郎　佐瀬嘉男　黒川剛　太田実　宇都木辰男
◎協会山武支部長章　八角真琴　実川一男　太田富永　越川辰男　石毛正治　若梅健司　吉田好雄　山岸定雄　実川昭三　清室清志　平山和夫

謹賀新年

一九六四年

町会議員

議長　伊東右厳
副議長　伊藤茂雄
議員　市原仲
早川公平
小川義雄
鈴木英太郎
八角喜久夫
伊藤博
河井昇
高橋正
長野己
斉藤一
大藤謙
伊木正義
岩沢清一
平山謙
鈴木正
芹川栄
昌英顕元繁